

2. 「令和7年度音響基礎講習会」 開催報告

日本音響材料協会 運営委員会

1. はじめに

本協会主催の「音響基礎講習会」が7月3日(木)に、大建工業セミナールームにて開催されました。

音響基礎講習会は、音の基礎知識を必要とされる方や新入社員の方、音の基礎知識を改めて勉強したい方、最近の音響技術の動向を確認されたい方などを対象として年1回、開催しております。

講師陣は、音の専門家として活躍されている実務者の方々ですので、経験談なども交えながら、実際に会場で音を体感し、基礎知識を学ぶことができる講習会です。

今回の基礎講習会は次、に示す6つのテーマについて実施されました。

1. 音の基礎知識
2. 音響材料(吸音・遮音)
3. 騒音の防止
4. 振動の防止／固体音と体感振動の防止
5. 室内音場
6. 音響測定

各テーマの中で参考文献として「音響技術」のバックナンバーを多く紹介されておりました。更に知識を深めたい方は、「音響技術」から学んでみるのはいかがでしょうか。日本音響材料協会では過去の「音響技術」の



DVDやバックナンバーの販売をしておりますので、是非、日本音響材料協会ホームページをご覧ください。

【テーマと講師】

1. 音の基礎知識

講師：星野 康 氏(日本環境アメニティ(株))



音の伝わり方や拡散、反射、屈折、回折、干渉といった現象、音の三要素、音の単位であるdBに関する説明、騒音の評価方法や法規制について、基礎を丁寧に解説していただきました。

2. 音響材料(吸音・遮音)

講師：森田 健 氏(日本環境アメニティ(株))



吸音・遮音に関する基礎の説明、吸音材料と遮音材料の種類や特性、材料の選定方法・使用例など音響材料のサンプルを紹介していただきながら、とても解りやすく解説していただきました。

3. 騒音の防止

講師：平田 武士 氏(日本音響エンジニアリング(株))



騒音防止設計の手順について、体系的に解説いただきました。間違いやすい騒音対策や遮音構造別事例では具体的な事例紹介が多くあり、今後の実務でも活かせる内容だったのではないのでしょうか。

4. 振動の防止／固体音と体感振動の防止

講師：山野 彰太 氏(ヤクモ(株))



振動に起因した固体伝搬音による騒音が問題になる事があります。振動の基礎知識から振動防止の方法について、解りやすく解説していただきました。体感振動対策も含めて、防振・制振材料とその効果など、理解が深まったのではないのでしょうか。



〈写真 防振・制振材料〉

5. 室内音場

講師：重富 千佳子 氏

(日本音響エンジニアリング(株))



その空間に合った響きとはどのようなものなのか。ホール・映画館などの音環境を重視する施設や、体育館、教室、会議室などの音は特別重要視されないと思われる施設においても、音響障害のない快適な音環境を作る事は大切です。室内音場設計の注意点を、多くの事例紹介や吸音材の有り無しの違いを可聴化シミュレーションと共に詳しく解説していただきました。

6. 音響測定

講師：伊藤 幸一 氏(日本音響エンジニアリング(株))



音響測定を実施することの意味と目的、音響関係測定機器の説明、測定方法、評価方法について詳しく解説していただきました。また、体験デモでの音圧レベル差体験や床衝撃音測定、音の到来方向がわかるアコースティックカメラ、音源探査SoundGraphyなども

紹介していただきました。

各テーマの終了後には、講義の内容にとどまらず実務につながる視点から様々な質問が上がりました。講習会を通して、音に関する理解が知識と体験の両面から深められた有意義な1日になったと思います。

日本音響材料協会では、基礎講習会以外にも建築学

会や業界の第一線で活躍されている講師を招き、より専門的な知識習得のための「技術講習会」や防音の初歩を習得するための「防音勉強会」なども計画しておりますので、興味のある方は日本音響材料協会のホームページをまたは事務局へお問い合わせください。